※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新公共(第一学習社)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校で得た社会的な知識をふまえて、グラフや表、地図などから情報を読み取る能力や、現代の社会的事象を多面的にとらえるとともに、地理的な認識や世界の歴史なども関連させながら、国際的視野に立った学習を行う。

２　学習の到達目標

a：知識・技能
現代の諸課題を捉えて考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。

b：思考・判断・表現
現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したこと議論する力を養う。

c：主体的に学習に取り組む態度
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え、考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	公共的な空間を作る私たち	第１編　公共の扉 第1章　公共的な空間をつくる私たち Ⅰ公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主･自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方について理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート提出	振り返りシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 Ⅰ人間として生きるあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方･考え方 2 実社会の事例から考える ～環境保護 3 実社会の事例から考える ～生命倫理 Ⅱ選択･判断の手がかりとなる倫理的価値観 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a:選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:倫理的価値の判断において、行為の結果である幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験等を通して、多面的、多角的に表現している。	定期考査 ノート提出	ノート提出	
	公共的な空間における	第３章　公共的な空間における基本的原理 Ⅰ自立した主体となる 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊厳 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由･権利と責任･義務	a：人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由、権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:幸福・正義、公正などに着目して考えている。	定期考査	ノート提出	

※令和４年度以降入学生用

	基本的原理	Ⅱ よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	c:公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		ノート提出	振り返りシート
	法的な主体となる私たち	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第 1 章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために	a:法には国家と国民の間を規律する公法や、私人間を規律する私法などがあること、法は刑罰などによって国民の行為を規制し、社会の秩序を維持するだけではなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常生活に密接に関連していることを理解している。 b:生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。	定期考査	ノート提出	
	契約と消費者の権利・責任	主題 2 契約と消費者の権利・責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	b:家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしているか。		ノート提出	振り返りシート
	司法参加の意義	主題 3 司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	a:国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 b:検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、その主題を追求・解決するために考察したり、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	定期考査	ノート提出	

※令和４年度以降入学生用

二学期	政治的な主体となる私たち	第 2 章　政治的な主体となるわたしたち 主題 4　政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a:国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 c:政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査		振り返りシート
	国際社会と国家主権	主題 5　国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	b:国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。 c:国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		ノート提出	振り返りシート
	日本の安全保障と防衛	主題6　日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a:日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現代社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的、多角的に考察し、表現している。	定期考査	ノート提出	
	国際社会の変化と日本の役割	主題 7　国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人権･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:人種･民族問題と地域紛争の実態、難民問題に対する資料を集め、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。 c:国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査		振り返りシート
	経済的な主体となる私たち	主題 8　雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a:企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか理解している。 c：近年の雇用事情の変化と様々な労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し論拠をもって表現している。	定期考査		振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	社会の変化と職業観	主題 9 社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	b:技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し論拠をもって表現している。 c:社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。		ノート提出	振り返りシート
三学期	市場経済の機能と限界	主題 10 市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済の仕組み 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a:経済の基本的な仕組みと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 b:市場機能の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し論拠をもって表現している。 c:市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	ノート提出	振り返りシート
	金融の働き	主題 11 金融の働き 1 金融の意義や役割	a:資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解している。 c：金融の働きについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。	定期考査		振り返りシート
	財政の役割と社会保障	主題 12 財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a：財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 c:財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。	定期考査		振り返りシート
	経済のグローバル化	主題13 経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困格差 6 地球環境問題 7 資源･エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a：国際分業と国際貿易体制、国際収支と為替相場にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 c:世界的な問題である貧困格差、地球環境問題、資源・エネルギー問題について具体例をあげて多角的に考察、構想し論拠をもって表現している。	定期考査		振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度